

## ▼ファブラザイム点滴静注用 [注]

- 【重要度】 【一般製剤名】アガルシダーゼベータ (U) agalsidase beta [genetical recombination] 【分類】ファブリー病治療薬 [β-ガラクトシダーゼ酵素製剤]
- 【単位】 ▼5mg・▼35mg/V
- 【常用量】 隔週 1mg/kgBW
- 【用法】 初回投与時の速度は0.25mg/min [15mg/hr] 以下で、忍容性確認後、徐々に速めてもよく、最大0.5mg/min [30mg/hr] で点滴静注
- 【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (1)
- 【保存期腎不全患者への投与方法】 減量の必要なし (1)
- 【特徴】 ファブリー病の酵素補充療法に使用。主に内皮細胞及び実質細胞中に蓄積する糖脂質 (特にGL-3 ; globotriasylceramide) のリソソーム内加水分解酵素α-ガラクトシダーゼAの遺伝子組換え製剤。
- 【主な副作用・毒性】 悪寒、発熱、倦怠感、呼吸困難、鼻炎、高血圧、infusion associated reaction、頻脈、末梢性浮腫、過敏症など多数
- 【F】
- 【tmax】
- 【CL】 3.0±0.9mL/min/kg (1)
- 【t1/2】 45～102min で用量依存的 (U) 96.7±24.7min (1)
- 【蛋白結合率】
- 【Vd】 肝に分布 (1)
- 【MW】 約 100,000
- 【透析性】 分子量が大きく、透析されないとされる (5)
- 【相互作用】 検討されていない (U)
- 【更新日】 20160204

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配言を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。